

# 平成30年春期 富岡西・能見台地区推進連絡会 意見交換要旨

## 1 日時

平成30年5月22日（火）13:30～15:00

## 2 場所

能見台サウスヒル第一集会所

## 3 参加者

（地域側）町内会長・副会長・民生委員等 5名

（支援チーム、その他行政側）

区役所 13名

区社会福祉協議会、地域ケアプラザ 8名

## 4 意見交換要旨

### （1）町内会活動等について情報交換

#### （地域意見）

- ・防犯パトロールや雪かきなど、地元企業が地域密着で町内会活動を担っている。
- ・小学校低学年を対象とした図書館は継続しているが、本の整理に困っている。
- ・担い手不足で途絶えていた夏祭りが6年振りに復活した。防災のために顔見知りを作ろうと誘い、100人程の有志が集まった。「町内会の」と言うと嫌がられるが、皆が気にしている「防災」を切り口に繋がりを広げたいと考えている。
- ・昨年から自治会の役員を輪番制にした。2年任期。仕事を持っている人もいるが、今までの活動は継続したいと考えている。
- ・自主防災会議を自治会と管理組合の合同で行っている。
- ・シニアクラブは様々な活動をしているが、メンバーが固定化してきている。
- ・祭りのボランティアは80人程度いるが、料理の下準備が大変。購入品を増やすなど省力化を図っている。
- ・隣の自治会と合同で祭りを実施。
- ・防災備蓄庫として、新たに小さい倉庫を自転車置き場に6個設置した。
- ・マンションなので自助の防災訓練を独自でやった方が良いとの意見がある。

#### （支援チーム）

- ・合同でお祭り等の事業を実施したきっかけは何かあるのか？

#### （地域意見）

- ・元々同じ自治会だったので、事業を継続している。

#### （支援チーム）

- ・お祭りはどのような年代の方々が集まるのか？

#### （地域意見）

- ・年齢は様々。担い手は回覧板等で集める。手伝うのが好きな人はいる。

- ・毎年同じ様な人が集まる。若い人もいる。当日のボランティアもいるが、前日までの買い出し等は役員が中心で人手が少なく厳しい。
- ・当日のボランティアは集まる。小学生もいる。マニュアルも用意している。顔見知りを作るのに非常に良い機会となっている。

## (2) その他質疑（防災対策）

（地域意見）

- ・災害時の医療提供体制や病院の位置付けについて、広報の予定はあるのか。

（支援チーム）

- ・広報よこはま金沢区版で掲載予定。また平成 31 年度以降、WEB上の地図で反映させたい。

（地域意見）

- ・システム自体が知られていないと思う。広報を頑張ってほしい。

（支援チーム）

・前回話題に出た、「発災時に水洗式トイレは使用してよいのか」について、家庭用トイレは使用していただいて構わない。使用していただくことで排水設備の損傷を早期発見できる場合がある。ただし、①下水処理場の被災等により使用制限がかけられている、②明らかな損傷が見受けられる、③トイレの水が流れない、のいずれかの場合は使用しないでください。

・また、「金沢区はダメで磯子区では良い、区内でも並木は良いが他地区はダメ」と聞いたという件は、磯子区や鶴見区などは金沢区よりも早く下水道管が整備されたことから再整備が進んでいること、下水道管の耐震化は液状化が予想される臨海部を中心に進めている、などのことかと思われる。

（地域意見）

・発災後、市との協定業者が下水管を点検するという話だが、家庭での水洗トイレの使用は管に破損がないことが確認された後の方が良いのでは。破損したところに下水が流れて来ては点検自体も大変だろうと思う。地域防災拠点へトイレパックを配布しているように、町内には災害時は水洗トイレではなくトイレパックを使うようにアナウンスしている。